

請求の範囲

- [請求項1] ケーシング (50) 内に回転自在に収容された円柱状のロータ (10) を有し、当該ロータ (10) を軸方向に通過する空気を処理する空調回転体 (30) であって、
- 前記ロータ (10) の外周部と前記ケーシング (50) との間にラビリンスシール構造 (100) が設けられ、
- 前記ラビリンスシール構造 (100) は、前記ロータ (10) から前記ケーシング (50) に向けて前記軸方向に突出する第 1 突出部 (23a) と、前記ケーシング (50) から前記ロータ (10) に向けて前記軸方向に突出する第 2 突出部 (56a) とを含むことを特徴とする空調回転体。
- [請求項2] 請求項 1 において、
- 前記第 1 突出部 (23a) 及び前記第 2 突出部 (56a) のうちの少なくとも一方は、弾性体であることを特徴とする空調回転体。
- [請求項3] 請求項 2 において、
- 前記ラビリンスシール構造 (100) は、複数のかみ合い構造を含み、
- 前記複数のかみ合い構造は、前記軸方向に対して互いに異なる角度で傾斜する複数の前記弾性体を含むことを特徴とする空調回転体。
- [請求項4] 請求項 3 において、
- 前記複数のかみ合い構造は、先端に近づくに従って互いに離間する複数の前記弾性体を含むことを特徴とする空調回転体。
- [請求項5] 請求項 2～4 のいずれか 1 項において、
- 前記第 1 突出部 (23a) は、非弾性体であり、
- 前記第 2 突出部 (56a) は、弾性体であることを特徴とする空調回転体。
- [請求項6] 請求項 1～5 のいずれか 1 項に記載の空調回転体 (30) を備えることを特徴とする空気処理装置。